

## 自転車の規格と「規格集」の発行

### 各国の自転車規格

自転車の規格は他の工業製品・部品等と同じように各国で各々規定されており、日本ではJIS（日本工業規格）、ドイツではDIN、イギリスではBSIといったように存在し国状によって様々な形態を採っている。西欧においては我が国と違って、交通体系の中に近距離交通の手段として自転車が明確に地位を与えられており、例えばドイツでは日本でいう道路交通法の中に一般道（自転車道を含む）において走行できる自転車について細かな規定があり、それらを補完・試験する方法としても自転車のDINが活用されている。また、アメリカでは米国消費者製品安全委員会が作成するCPSAが強制法規として在り、工業製品としての自転車に求められる性能と、消費者側に立った安全性といった両面からの要求事項が規定されており、それをクリアしないと市場で流通出来ない。

また、EU（欧州連合）域内においては、域内の自由な貿易を阻害しないという観点より、域内の統一規格としてCEN規格があり、現在自転車の規格を作成中である。EUの場合もアメリカ同様「EU指令」となった場合、EU加盟国間の強制法規となる。

### 自転車のISO規格

自転車関連のISO規格としては、24規格が制定されており、代表的なものとして「ISO 4210 - 自転車の安全要件」、「ISO 8098 - 幼児車の安全要件」の2規格が挙げられる。JIS規格が自転車の部品単体毎に細部まで規定されているのと異なり、大まかに試験方法が規定されている。自転車のISO規格はアメリカのCPSAをもとに作られたため、規格のタイトルが示すように使用者の安全について配慮されている。

また、日本ではほとんど目にすることはないが、コースターブレーキ（ペダル逆転ブレーキ：ペダルを逆に回すことによって制動をかける方式

のブレーキ）の試験方法についても規定されている。（北欧では、大人用の自転車でもコースターブレーキの仕様が多い為）

自転車のJIS規格は、ISO規格の試験方法・規定値等を採用している。また、JIS規格独自の方法も規定している。

### 規格集の発行

今回発刊した「JIS自転車・車いす編2000」には、現時点で最新の自転車関連規格45規格を収録したほか、（社）日本自転車協会の団体規格として制定されている、自転車安全基準、電動アシスト自転車安全基準、マウンテンバイク安全基準、マウンテンバイク類形車安全基準、クロスバイク・ハイブリット車安全基準、一輪車安全基準について収録、また自転車関係交通法令集を抜粋し、英語版を別冊としてJIS自転車関連44規格を収録した。

（自振協・本部 生産技術部）

